

★トピックスは裏面

コミセン湘南まつりにドツと880人

雲一つない青空の下、昨年11月4日に開催した「コミセン湘南まつり2023」にたくさんの方が集まった。野外特設ステージではバンド演奏、中島中、柳島小による催し、利用団体による模擬店（野菜、スイーツなど）、ZUMBA体験などを行い楽しんでもらった。来場者数延べ880人、来賓者は佐藤光市長ら12人を数えた。

「バスボム」「プラ板」づくりも

午前の部の最後、曲が流れ始めると観衆は口ずさみ、歌いながらリズムを取る。11月に入ったというのに、真夏のような太陽がジリジリと肌を焼く。夏のイメージそのものの楽曲「シーズン・イン・ザ・サン」にみんなノリノリだ。それもそのはず。演奏しているのが元TUBEのサポートメンバーだった矢口一朗さんだからだ。矢口さんは茅ヶ崎にあるライブハウス「スタジオワン」のオーナーでもある。リーダーの谷川将史さん、上田英司さんと3人の「谷川バンド」は、このコミセンで「茅ヶ崎を音楽の街にしたい」と

ウクレレ教室も開いている。さすがプロと思わせる技術と経験で聴衆を引っ張り込み「ママに言えない」「また来世」「本で見ただけの夢」の4曲を演奏し喝采を浴びた。

輪投げに興じる子ども



元TUBEの矢口さん熱演奏

TUBEの曲で魅了する矢口一朗さんと谷川将史さん



中島中学校吹奏楽部がサザンの「ピースとハイライト」、YOASOBIの「アイドル」をオープニング演奏。

駐車場に設けた特設ステージが栄える。その後「エンジョイライフ」「コナ・ハワイアンズ」「柳〜ズバンド」「キッズフラ」と個性豊かなバンド演奏、踊りが詰めかけた人を飽きさせない。最後はZUMBA体操で締めくくった。

従来から実施している中島中学校および柳島小学校による催しも子どもたちを引きつけた。二階の大会議室などで「バスボムづくり」「似顔絵」「プラ板づくり」。一階の和室では「茶道体験」が開かれた。別の駐車場では輪投げ。午後の大会議室では映画「クレヨンしんちゃん」が上映された。



楽曲に合わせて踊る「キッズフラ」の子どもたち

習っておいてよかった

【12月1日普通救命講習会】いざという時のために、湘南地区まちぢから協議会コミセン部会主催で14名が参加して開催された。茅ヶ崎市消防本部および応急手当指導員の講師の方を迎え、「心肺蘇生法」「AEDの使用方法」「止血法」



「気道異物の除去方法」について習った。ある参加者は「講師の方から大きな声を出してと言われ、途中からは参加者全員の声が大きくなったので、必死に声を出しました」と、充実した講習に満足そうだった。



昔懐かしい紙芝居に子供たち歓声

【7月30日 コミセン朝市】駐車場に4張りのテントの下に5グループが店を出した。ゴーヤ、ネギ、人参、ミニトマトなど新鮮野菜、クッキー、マフィン、ショコラなどお菓子も並んだ。野外ステージでは柳〜ズからスタート。「真っ赤な太陽」「君といつまでも」など昭和のポピュラーソングで盛り上げ、続いてフルーツ愛好会、コナハワイアンズが独特な音色で拍手喝采を浴びた。屋内ステージではエンジョイライフがハーモニカで「真夏の果実」などを演奏。また「鬼滅の刃」に合わせ踊りで魅了、マラカスを観客に配り一体感を演出した。わくわくらんどでは昔懐かしい紙芝居を幸田新策さんが上演。アンパンマンの愛と正義の物語に子どもたちは目を輝かせた。

泣いている、笑っているブタ作ったぞ

【8月9日 親子パン作り教室】講師に根岸恵子さんと前田照勝さんを迎え、大人9人子ども14人が参加して行われた。今回は生地から一次発酵で発生した二酸化炭素を抜く「ガス抜き」という作業から始まった。4分割して形をつくり少し休ませ、生地を「ブタ」「ウサギ」に形を作って40℃で30分オーブンに入れ仕上げ発酵。さらに180℃で10分間の焼成。最後にチョコペンシルで顔を描いて仕上げた。ブタの鼻は箸で穴を開け、目はレーズンを入れておいた。泣いているブタ、笑っているブタが出来て子どもたちは楽しそうだ。「かわいい」「ピカチュウになっちゃった」と大はしゃぎで盛り上がった。



「踊るポンポコリン」弾けたよ

【8月24日 ウクレレ教室】昨年に続き2回目に子どもからお年寄りまで男女13人が参加。茅ヶ崎駅前のライブハウス「スタジオワン」の矢口一朗オーナーと音楽仲間の谷川将史さん、上田英司さんが指導した。「楽器を1つできる楽しさを持ち帰って欲しい」とリーダーの谷川さん。「C、F、Am、G7と4つのコードを覚えてください。4つ覚えれば大抵の曲は弾けます」と続けた。「右手はなでるように、左手は強く弾いて」とやさしく指導した成果で、教室の最後に「ルージュの伝言」「踊るポンポコリン」などを全員で弾けるまでになっていた。



NHK 大河「光る君へ」を先取り

【10月19、26日、11月7日、14日 文学講座】講師に元高校教諭の藤野敬子さんを迎えて4回シリーズで行われた。「大鏡」と「紫式部日記」を読み、それを元にスライドを中心に時代背景、エピソードを交えた裏話などを披露した。2024年のNHK大河ドラマ「光る君へ」が紫式部の一生を描いた物語とあって、毎回20人を越す人が参加した。宮中の決まり事や仕える人々の生活やその人間関係。講義は興味深い内容とその解説で参加者を引きつけた。華やかに開いた平安文化の花。きらびやかな平安貴族の生活が目の前に蘇るような内容で、参加者は大満足だった。



クリスマスリース「孫に教えちゃう」

【11月17日 大人の折り紙教室】講師に中山里美氏をお迎えし開催された。14名が参加した。前回の「あじさい」に続き今回は「クリスマスリース」。手順書を見ながら折っていくのだが「折り目をきっちりつけないと、きれいにいきません」と言われ、真剣な表情で折り込んでいく。「孫に教えていっしょに遊びたいから」と言う参加者は「部屋かクリスマスツリーに飾りたい」と目を輝かせた。大きさは30センチほどになり「もう少し小さい方がウチのツリーに合うんだけど」という声も聞こえた。

【あとがき】

コロナが治まってきたと思ったら猛暑が続き台風も。コミセン湘南で一息ついて、あしたの糧となればうれしいです。